

モニタリング結果報告書

施設名 : 境川遊水地公園

指定管理者 : (公財) 神奈川県公園協会

施設所管課 (事務所名) : 藤沢土木事務所

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況 (1~9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考 (確認事項等)
4月	5月10日	5月30日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていた。
5月	6月10日	6月30日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていた。
6月	7月10日	7月29日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていた。
7月	8月10日	8月30日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていた。
8月	9月10日	9月30日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていた。
9月	10月10日	10月26日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていた。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

ボランティア団体をはじめとする地域・関係機関との連携。

<実施状況>

体験学習・研修(地層観察・貝化石採集)の実施
(教育機関：日本大学造園緑地学研究室・神奈川県立生命の星・地球博物館)

ボランティア団体と連携した観察会等を実施した
(川の生き物観察会、バードカービング教室、ツバメのねぐら入り観察会等)

ビオトープ管理者養成講座の実施(藤沢市との共催)
6月~9月 4回 参加者数 240名

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期	79,571	79,571	0	0	79,571	0
前期	72,000	72,000	0	0	72,000	0
上(下)半期 予算額	40,138	40,138	0	0	40,138	0
4月	4,446	4,446	0	0	4,324	122
5月	5,351	5,351	0	0	5,312	39
6月	8,930	8,930	0	0	7,615	1,315
7月	7,947	7,947	0	0	6,624	1,323
8月	6,407	6,407	0	0	6,383	24
9月	7,057	7,057	0	0	6,434	623
今年度 半期計	40,138	40,138	0	0	36,692	3,446
前年度 同期計	42,038	42,038	0	0	35,354	6,684

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	1,510千円	案内板改修等（1,510千円）
下半期		
総額		

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	22,752人	21,206人	7.3%
5月	22,977人	26,482人	△13.2%
6月	18,946人	18,744人	1.1%
7月	23,608人	22,336人	5.7%
8月	24,282人	27,032人	△10.2%
9月	23,461人	20,898人	12.3%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計		136,026人	136,698人		△0.5%
今年度下半期計					

利用状況に関する意見等

- ①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計	
	対面	電話	手紙	メール	アンケート		
4月	3 (0)	(0)	(0)	(0)	(0)	3 (0)	
5月	3 (0)	2 (0)	(0)	(0)	(0)	5 (0)	
6月	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0 (0)	
7月	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0 (0)	
8月	2 (0)	(0)	(0)	(0)	(0)	2 (0)	
9月	1 (0)	(0)	(0)	(0)	(0)	1 (0)	
合計	9 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

⇒該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・当公園は遊水地としての機能を発揮できるように施設を保全しているが、8月は度重なる集中豪雨により遊水地に越流があり、その内1回は下飯田遊水地の2次池が満水状態になり、駐車場や有料施設のグラウンド、園路等に泥や河川ゴミが堆積して使用が困難になったが、懸命な復旧活動により数日後には利用可能な状態としました。 ・当公園の利用促進を図るため、自然観察会や境川の魅力を発見するナイル川と境川と題しての研修、当園で初の持ち込みイベントとしてのバードカービング教室などを通じて、ビオトープを中心とした自然環境の保全・活動に取り組みました。 ・広場や運動施設の活動を通じて健康増進が図れるように、多目的グラウンドの芝生管理や清掃、ゴミの持ち帰り運動に取り組むと共に、公園職員の資質向上のため、研修会を行いました。
施設所管課	<p>当公園は、遊水地としての機能を確保すると共に、自然再生・観察やスポーツ、コミュニケーション機会の場の提供を通じて、公園の利用促進を図る役割を担っているが、集中豪雨など自然との脅威を相手に公園の維持管理・運営を行うことから、園内への越流時は利用者の安全確保のため施設利用を制限し、遊水地機能を適切に確保する管理を行う一方で、ビオトープとしての管理・活用や、越流時の運動施設への影響を最小限にする取り組みを良好に実施した。</p> <p>また、これまでの自然観察会等を実施した経験等を生かしつつ、公園職員が一体となって創意工夫して管理運営やイベントを展開をしている。</p> <p>今後も、安全確保に加え、多様なプログラムを充実し、利用者サービスの向上と利用促進を図ってもらいたい。</p>